

保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人鶴見保育の会
施設名	ひだまりの保育園
報告者（役職）	山崎 和子（園長）
住所・連絡先	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-7-15-1 階
	☎ 045-642-4555
	E-mail hoikuen@hidamarino.jp

○タイトル（保育計画）

心も体もしなやかに ～思わず遊びこみたくなる環境の下で…～

○主な助成備品

レインボーバランス・ウェーブバランス平均台・おままごとセット 等

1. 保育計画策定の目的

運動能力が急速に発達する乳幼児に自分のからだは自分で守る（小さな怪我はしても大きな怪我にならない）ようにする為には日々の生活の中で一日一回（雨の日も）楽しみながらからだを動かすことが必須と考える。ひだまりの保育園で大切にしていること『人は人の中でしか人になれない』という共通理解のもと、子供たちが自主的に友達と自由に夢中で遊びこむ中で思考力・判断力・表現力などを自然に身につけてもらいたいと考える一方、園児の年齢が0～2歳と運動能力に差がある為、年齢に合わせた安全な場所を確保する事が前提となり、その上で手狭な園内スペースを有効活用しながらからだを動かせる環境を整備する。

2. 具体的な実施内容

雨の日や日が暮れるのが早い冬場など手狭な園内の中でキッチンセット等を使用し壁を作る事で乳児の安全なスペースを確保しながら園児がレインボーバランスやウェーブバランス平均台等、作られたアップダウンを自由に自分から進んでくり返す環境を整備した。

【楽しみながら自由に遊びこむ園児】





【キッチンセット等を使用し、それぞれのスペースを確保】

キッチンセットを壁付けではなく0才児と遊び場の境界線を兼ねた配置とした事で、対面キッチンとしての遊び方を2歳児たちは自然に見つけ出した（大人による0才児への安全面での配慮は若干必要になったが）。

2歳児はお母さんやお店の人になりきって鍋に食べ物やチェーンを入れてコンロで料理をしたものをお皿に盛り「いらっしゃいませ」と自分で作ったものを友達や保育士に提供したり、ふるまったりする姿が見られ、微笑ましく感じた。自分が家で両親からしてもらっている経験をままごととキッチンの環境を整えたことで「見立て遊び」や「ごっこ遊び」へと遊び方が次々と発展していった。

【見立て遊び】【ごっこ遊び】



3. その成果と評価

楽しんで夢中になりからだを使って遊ぶ中で、いつの間にかからだの使い方が上手になったり体幹がしっかりしてきたりし、からだが生なやかになってきたように感じる。

正しく自分で試しチャレンジした結果、知らず知らずのうちに自分のからだは自分で守り大きな怪我をしない準備へと繋がった。加えて天候や時間帯を気にせずからだや頭をしっかり使って安全に遊べる空間を園内に設置できたことで、マンネリ化の防止とともにストレス発散や食事・睡眠の質の向上へと繋がり、今まで以上に健康になったことは間違いないと確信している。

またお友達と一緒に遊ぶ中で共感したり悔しい思いを経験し、心の成長にも期待以上の効果があったと感じている



4. 今後の課題と展望

設置型ゆえに自由度や便利さはあるものの、常設型と違いすぐに遊ぶ事ができないことや、園内の広さの関係もありいつも目にする所に置いていないこともあり、ともすると先生がセッティングしないと行えない、いわば先生主導になりがちな点が課題である。

今後は子供に見える安全な置き場を考えたり、一部を常設するなどの工夫を要し、少しでも子供たちが自然に遊べる環境を考慮していく必要を感じている。

以上